

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		バル・キッズ・クラブ Next				公表日		R8年 2月 6日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7		子どもたちが落ち着いて活動できるようにパーティションなどを使用し、スペースを確保しています。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		7		子どもの状況に応じて適切な職員配置を行っています。		送迎時などで一時的に少なくなってしまうこともあるため、改善していきたい。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		按針して過ごせるよう環境を整え、視覚支援を取り入れています。		状況に応じてパーティションなどを使用し、環境調整などの工夫を行っています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		毎日の掃除を徹底しています。空気清浄機などで空気の換気も行っていきます。		身の回りの整理整頓も徹底していきたいと思えます。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		相談室や学習室など個別で過ごせる環境を整えています。		体調不良の児童がいた際の一時的な休養場所が固定されていないので、子どもの状況に合わせて環境を整えていきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7		ミーティングや毎月の会議で話し合いを行っています。		会議で話し合った内容を踏まえて、業務改善に繋げていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		行事があった際には保護者様向けのアンケートを作成し、意向を把握できるようにしています。		評価表の結果を公表し、改善すべき部分は改善できるように取り組んでいきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		毎日のミーティングや毎月の会議を必ず行い、意見交換の場を設けています。		コミュニケーションを密にとり、業務の改善点などを話し合いやすい環境を整えていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			7			現時点では行っていないので、今後の課題としていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7		会社内での研修を行い、支援の質の向上を目指しています。また、定期的に外部講師による研修も行っていきます。		研修を受講した際には、他の職員に伝え、アウトプットも意識していきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7		作成し、公表しています。		利用者様、保護者様の現状や課題に寄り添った支援プログラムとなるように工夫しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7		アセスメントを行い、ニーズや課題を客観的に分析し、作成しています。		成長や現状の課題を把握しながら計画書を作成するよう努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		毎日のミーティングで気になることを話しあい、ケース会議でも一人ひとりの意見を聞き、話し合う時間を大事にしています。		今後も目標を職員間で決めて計画書を作成していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7		計画書は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。		今後も継続して支援を行っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		毎日支援経過を入力し、アセスメントも適宜行っています。		今後も継続して行っています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		子どもの発達状況に応じて必要な項目を取り入れて作成しています。	今後も継続して行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各活動を委員会として、職員間で話し合っ決めていきます。	今後も継続して行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定化しないように、定期的に活動内容に変化を加えています。	今後も曜日や内容を変更し、固定化しないように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動、集団活動の両方を行っています。	今後も継続して行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		職員間で毎日ミーティングを行い、その日の活動や子どもの様子を話しています。	日タシフトを作成し、毎日ミーティングで業務の確認をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日振り返りを行っています。重要事項などは日々の業務日誌に記録しています。	毎日のミーティングで職員間の情報共有を徹底しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日の支援経過を記入し、次につなげることが出来るように取り組んでいます。	日々の記録に努め、支援の改善や検証を随時行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	少なくとも半年に一回のモニタリング、計画書の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		子どもの発達状況に応じて様々な活動を行っています。	個々に応じた支援を提供できるように工夫していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子どもが自己決定できるように選択肢を与えて課題や療育を行っています。	相手にわかりやすい伝え方や気持ちの表し方について工夫していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には積極的に参加しています。	今後も継続して参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて各機関との連携を図っていきます。	今後も必要な場合やご要望があった場合は連携を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校によっては保護者を介してでないと教えてもらえないところがあるが、マチコミなどに登録し、教えてもらえるところもあります。	今後も学校との情報共有に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		当事業所と連携する児童発達支援事業所があるため、移行する際に連携を取っています。	各機関との必要な情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		今まで学校を卒業する児童はいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		センターでの検査結果は参考にしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		今はありません。	今後、検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		現時点では参加していません。	今後機会があれば参加したいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡ツールを使って、情報共有を行っています。	保護者とコミュニケーションを図り、共通理解をもって支援していきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアレントトレーニングは行ってないが、子どもの様子に合わせて個別に相談支援を行っています。	今後も子どもに合わせて、行動チャートや対応についてご提案していきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明しています。	今後も契約時に説明していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別計画書作成に当たっては、事前に保護者と面談を行い、意向の確認を行っています。	ご意向が反映できるように努力していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画作成後、保護者の方に同意をいただきサインをいただいています。	今後も丁寧に説明をし、確認作業を行います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談は半年に一回行っています。	面談以外でもその都度相談を受けています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		今年度も3月を予定しております。	懇談会以外にもご要望があれば開催を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情に関しては相談窓口を設け、速やかに対応しています。	今後も適切な対応を行い、必要時には他機関と連携をしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSにて定期的に活動の様子を発信しています。	行事予定や通信などは毎月発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		秘密厳守を徹底しています。	現状維持はもちろん、扱いに不十分なところはないか考えていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ご本人の特徴に合わせて、文字やイラストで表示するなどの対応を行っています。	今後も継続していきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		年に1度地域の方を招待したイベントを行っています。	今後も毎年取り組んでいきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		契約時に説明をしています。	今後も職員に周知、徹底し、契約時に保護者の方に周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPは作成し、災害時に備え避難訓練を実施しています。	毎月の訓練は継続し、消防署と連携した消防訓練も実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		子どもの様子については、事前に保護者の方とお話しをし、聞き取りをさせてもらっています。	てんかん時の対応などは一覧表にして、職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		飴や餅、食物アレルギーのお子様の一覧表を作成し、職員間で共有を行っています。	除去を徹底していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全管理は定期的に確認していきます。	今後も継続していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		周知しています。	お知らせなどを配布し、保護者の方との情報共有に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		各自ヒヤリハットを記入し、会議で話し合いを行っています。	今後も職員間で共有し、事故につながらないよう環境整備をしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止研修に参加したり、月に1回虐待防止について振り返る機会を設けています。	毎年研修を行うことを意識し、虐待防止の意識向上に努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		該当者なしです。	該当者なしです。	